

高橋 久光 議員（代表質問）

1 コロナウイルスによる肺炎拡大防止に向けての対応は、万全か

- (1) 小中学校の子どもたちの安全・安心のために3月2日から市内全校臨時休校とされたが、それで良かったのか。
- (2) 子どもたちの休校時における学童保育の体制は、十分、整っているか。各校下、地区ごとに実施されている学童の体制、対応についての状況は。
- (3) 卒業直近の小学6年生や、高校受験を控えた中学3年生への対応は、どうしているのか伺う。
- (4) 市内の高齢者施設及び高齢者に対する対応は万全か。

2 ほたるいか海上観光について

- (1) 今後の新型コロナウイルス感染状況によって運航自粛等の対応をされると思うが、どのような時点で対応するか。
- (2) 今年のホタルイカ漁は例年より多いと予想され、解禁初日港では、昨年よりかなり多い365kgと報道されているが、どのように思うか伺う。
- (3) 今シーズンのほたるいか海上観光は1月15日から受付しておられたと思うが、現在どのような状況か伺う。
- (4) 昨年、市長はじめ、担当者で、台湾を訪問され、ほたるいか海上観光をPRされたが、台湾からの予約があったか。また、現状はどうか伺う。

3 花いっぱい滑川について

- (1) 憩いの場を創出するための取り組み「グリーンアドバイザー」に職員が5名合格した。新年度は、花壇における花の栽培等実践的に取り組みを進めるとのことだが、具体的にどのような活動なのか。また、グリーンアドバイザーの職員は、専任か兼務かについて伺う。

- (2) 滑川駅前ホテルイカプロムナードの歩道の植木がなくなった。この後はこのままなのか。
- (3) 行田公園の花しょうぶが、近年少し元気がないようだが、花しょうぶ畑の面積が減ったのか。
- (4) 滑川市が今後、花いっぱいの街に変貌してはどうか。

4 県河川敷堤防海岸脇のゴミ対策について

- ・ 市内の海岸や河川敷または、河口のゴミ対策について、誰が、どこで処理するかについて確認したい。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 新型コロナウイルスへの対応について

- ・ 学校の一斉休校が実施。市民の不安軽減のための対応は。突然の「要請」で混乱を極めたと思うが。
 - ア 学童保育実施の不安と課題は。
 - イ 未履修の授業はどうなるのか。自宅学習だけで修了か。
 - ウ 給食中止による納入業者、食材生産者などへの影響は。

2 加齢性難聴者への対応について

- ・ 加齢性難聴は認知症要因の一つとの認識は広がっている。
 - ア 障害者手帳取得者でなくとも、補聴器購入に助成は検討できないか。
 - イ 会議、講演等への貸出用「ヒアリンググループ」を準備して、加齢性難聴者の社会参加を支援する考えはないか。

3 国民健康保険について

- (1) 新年度の国保税の見直しについて
- (2) 重ねて子どもの均等割見直しを求める。

4 公営住宅について

- ・ 条例改正が提案されているが、保証人の規定はそのままか。全国的に高齢者が保証人を確保できずに入居できない事例が増えていることから、保証人規定を見直すところが増えている。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 安全・安心について

- (1) 高齢ドライバーの事故防止のため、国ではサポカー補助金を創設した。市も便乗して補助すべきと考えるが、見解は。
- (2) 市道の歩道白線やセンターラインなど年数が経ち、消えているあるいは消えかかっている箇所について、今後の対応をどのように考えているのか。
- (3) 今冬の除雪について、出動回数は少なかった。2月末現在までの除雪費を伺う。
- (4) 除雪の出動回数が少なく、固定費や機械のリース代など業者負担が多く、赤字が重なれば、当然除雪業者は育たない。どう考えているのか。

2 子どもたちの学校環境について

- (1) 国の要請による、小中学校の一斉休校の対応について
 - ア 休校は、市として適切であったと考えているのか。
 - イ 共働きで、子どもを預けられない家庭への配慮はしっかりできているか。
 - ウ 学童保育以外の子どもの預け場所についてどのように考えているのか。
 - エ 長期間の休校で、子どもたちの生活のリズムが崩れ、自主学習だけで、学力の向上は図られるのか。
- (2) ICT教育の推進について
 - ア 3月補正予算において、各小中学校に情報端末及びLAN設備等の整備が盛り込まれている。子どもたちの学習意欲の向上にどのようにつなげていくのか。
 - イ 教える側の先生は、この情報端末を使いこなせる環境をどのようにつくっていくのか。
- (3) 学校部活動について
 - ア 週2日間の休みで、各スポーツの競技力の向上は図られているのか。
 - イ 近い将来、少子化の影響や、スポーツの多様化により、種目によっ

では、チームをつくることができなくなり、活動はできるが、試合に出られないなど想定される。今後どのように対応していくのか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 高齢者世帯への生活支援について

- (1) 一人暮らしまたは高齢者のみの世帯に対する日常生活支援の一環として、ゴミ出しの支援を検討してはどうか。
- (2) 豪雪時に限らず、高齢者世帯への雪下ろし・除雪等への支援を行ってはどうか。

2 厚生連滑川病院に対する市民の不安を取り除くための手立てについて

- ・ 厚生労働省による再編・統合の議論が必要とされる病院のリストが発表されてから、いまだ市民には厚生連滑川病院がどうなるのか不安に思っている方が多い。
 - ア この発表があってから病院の運営に影響はあったか。
 - イ 病院への助成を強化することで、市民の不安を多少は解消できるのではないか。

3 原爆写真展について

- ・ 原爆投下から75年の節目になる年として、平和について考えるような機会を持てる企画を検討されていると聞かすが、具体的な検討はいつごろか。市民団体などの参加も考えているのか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 防災について

- ・ ここ何年も言われている、想定外の雨量、ゲリラ豪雨、100年に一度の雨等で日本各地で甚大な被害を被っている。滑川市でも、いつこんな被害がもたらされるかわからないのが自然である。いつも、被害者の方が言っておられるのは、「こんな所でこんな被害になるとは考えてもいなかった」との言葉である。今までないから大丈夫ではなく、今までないからこそ、これからあると思うのが常識と考えていかねばならない。
 - ア この3月まで完成し、配布する予定とされていた、洪水ハザードマップの予算が、繰越明許費に入っている。どうしてこのような状況になったのか。また、来年度の完成となると思うが、いつまでに配布するのか。
 - イ 各地区の自主防災組織は、各地区の避難所までの避難行動は実施しているが、当局も絡んでくる避難してからの行動については、あまり議論されていないのではないか。
 - ウ 一時避難場所として民間企業に避難できる、企業間協定はどうなっているのか。
 - エ 非常食の備蓄量は万全か。また消費期限切れ近いものはどのようにしているのか。

2 会計年度任用職員制度について

- (1) この制度は、公務労働に多く従事している臨時職員・非常勤職員、分かりやすく言えば嘱託・アルバイト等の待遇改善が目的だと考えるがそれでいいのか。
- (2) 来年度の予算書に、会計年度任用職員の給料総額310,365千円となっているが、今年度と比較して増額されているのか。
- (3) 総務省からの通達ならば、国からの助成はあるのか。
- (4) 去年の12月定例会の答弁で、対象職員は184名と聞いていたが、来年度の予算書では224名となっている。この違いはなにか。
- (5) 職種や免許に応じて時間給は異なると思うが、この制度によりどう変わるのか。

(6) この制度になっても、あまり恩恵がない職種の人もいるとのことだが。

3 プレミアム付商品券について

- ・ プレミアム付商品券については、12月定例会で質問し、その際には低所得者向けの申請の締切りを、12月27日まで延長することだったがその後について
 - ア 11月29日まで申請率は45%であったが最終はどうなったのか。
 - イ 全国的にはどう推移したか。
 - ウ 消費を喚起する為の政策だったが、滑川市では影響があったと考えるか。

4 通学路の整備について

- ・ 通学路にもなっている、市道大島宮窪線の拡幅整備工事は四ツ屋町内でストップして久しい。去年早月加積地区自治会連合会からも、「早期着工を」と市へ陳情があった。見解を問う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 誰も置き去りにしない世の中を目指して

- (1) 高校生等医療費無料化の助成を受けられる対象範囲は。
- (2) 高校に進学しない者、高校を中退した者に対して、若年資格取得チャレンジとして資格試験代の補助はどうか。
- (3) 20歳までの若年者に対して仕事の意欲向上を促す、3日間丁稚奉公（職業体験）の仕組みはどうか。

2 小学校の環境について

- (1) 市内小学校の樹木剪定は、どのように行われているか。
- (2) 市内小学校の特別支援学級の状況はどうか。特別支援学校教諭免許状の保有者数、児童数を具体的に。
- (3) 特別支援学級に通っている児童をもつ保護者の情報は、どのように収集しているか。

3 消防団の担い手について

- (1) 消防団団員数と定員は何名か。
- (2) 消防団の定年延長はどうか。
- (3) このままの定年を続けた場合の5年後の予測は何名か。
- (4) ポスターなどのPRをしているが、効果と改善点は。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) 学校運営の中で、宿泊学習時の養護教諭の引率と在学児童・生徒への養護教諭の在り方をそれぞれどのような考え方で進めているのか。滑川市は代用教諭の人件費を手当しているのか。
- (2) タブレットを用いた教育について
 - ア ICT教育にこれまで以上に力点が置かれる時代になったと思うが、子どもたちが何をどこまで使いこなす学習を目指しているのか伺いたい。
 - イ 教師用のタブレットの準備はどのようになっているのか。
 - ウ ネットワークを使った遠隔操作での授業や、姉妹都市交流などを考えているか。
 - エ プログラミング教育は視野に入っているのか。
 - オ デジタル教科書を利用した授業のために、教材アプリの購入は予定されているのか。
 - カ セキュリティリスクに対して、どのように対応しているのか。
 - キ 子どもたちはタブレット学習のスタートが大切と思う。地元のシステムエンジニアの方を指導者と考え、今から指導をお願いするべきではないか。全国の学校で同時スタートのため優秀な人材の確保が必要ではないか。

2 健康づくりの中で

- ・ 厚生連滑川病院について
 - ア 永続的に厚生連滑川病院が診療を続けられるために、どのような話し合いをもって、どういう取り組みをして行くのか伺いたい。補助金だけではなく新しい感覚の支援を。
 - イ 新型コロナウイルス肺炎のために、個室対応できるよう、2床を感染者用として準備すると報道があった中で、市民を守るために必死に取り組んでもらっていることを考えると、市からの補助金を活用した設備投資として何か考えられないか。
 - ウ 具体的には、病棟の入り口にアルコールミストシャワーを設置するようなアイデアはどうか。病院がきれいで安全と言う建物になると患者さんは安心して来院できる。
 - エ 病院が胃カメラの機械を新しく導入したと聞いた。健康センターか

らのPRも必要ではないか。医師会や厚生連から市が協力して健康だよりとして出せばどうか。

3 新型肺炎対策で

- ・ 幼稚園・保育園・認定こども園での今後の対応を問う。
 - ア 親と園児が県外や海外へ旅行した場合に対する市の考え方をすべての園に通達すべきでは。事例に従って休園してもらうときの対応は。
 - イ 休校での親の休業補償は打ち出されているが、幼稚園・保育園・認定こども園の子どもで疑わしい状況で親が仕事を休まなければならない場合の対応は。補償はあるのか。
 - ウ 幼稚園・保育園・認定こども園の職員が休まなければならないとなったときの対応をどのように考えているか。
 - エ アルコールやマスクが大幅に不足している。0～5歳の一番抵抗力のない子どもたちを預かっておられる施設に今後どのように対応して行くのか伺いたい。休校している小中高の保管分を充当したらどうか。

4 食品ロスについて

- (1) 市役所に食べ物がもったいないの精神で、食品ロスゼロ3015運動などの呼びかけポスターはどのような掲示になっているか。担当課の職員の肌で感じる浸透状況は。
- (2) 賀詞交歓会のオードブル料理を一人ずつの折り詰め弁当にしたらどうか。作った人の立場で考えると、たくさんの料理の廃棄にがっかりされていると思う。一考されたい。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 東福寺野自然公園研修センター青雲閣整備について

- (1) 事業継続の原則の観点から、新年度予算案に、青雲閣の改築整備の予算が計上されていないその理由について
- (2) 青雲閣改築整備の進め方について、今後、新年度に取り組みが予定されているのか、並びにそのスケジュールについて

2 東加積小学校の教育環境整備について

- (1) 令和3年度から児童数の減少に伴い、複式学級になる見込みとのことであるが、その回避、並びに対応策としての今後の取り組みについて
- (2) 学校周辺整備としての駐車場の設置整備、並びに今後の取り組みについて
- (3) 老朽化した暖房設備の維持管理修繕、並びに設備更新について

3 成年後見人の育成について

- (1) 成年被後見人の実態について、また成年後見人制度に関する相談、並びにその対応の実態について、そして新年度予算の支援内容について
- (2) 専門職を含めて成年後見人として、受任可能な方の実態について
- (3) 市民後見人の育成の観点から、成年後見人養成講座、あるいは研修・教育等の実施・開催について

4 Net 3の民間譲渡について

- ・ Net 3のケーブルテレビやインターネット通信事業の民間への譲渡に際し、本市としてのスタンスについて

- ア 情報通信インフラの公共的な設備としての認識、並びに事業継続に際しての行政としての係わり、協力・支援・援助等を含めた担保について
- イ ケーブルテレビ放送、インターネットサービスの中心市街地から、里、中山間地域まで、隔てのない公平な住民サービスの提供の継続・確保、並びにその担保について
- ウ 自治体情報並びに地域情報の発信・伝達手段としての重要なツールとしての位置づけ、並びに継続・進展への担保について

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 観光振興について

(1) 令和2年度予算編成段階では、現在の新型コロナウイルスの感染拡大は予想されていなかったと考えるが、令和2年度観光推進事業において、新型コロナウイルス感染を踏まえた、現段階での見解、並びに詳細について問う。

ア 上田市長からの提案理由説明の中でも、「ほたるいか海上観光については、今後のウイルス感染拡大の状況によって運航を自粛する。」と説明があり、2月26日開催されたウイルスによる肺炎に対する観光面の対応を協議する県市町村担当課長会議においても、網谷観光課長より「3月15日までの感染状況を見て可否を判断する。」と公表されたが、可否を判断する日程の決定、また、感染状況についての説明を求める。

イ 同会議において、「1月中旬から受け付けている予約についてキャンセルが出ている。」という報告をしているが、予約数・キャンセル数の推移並びに乗船率の予測について問う。

ウ 観光遊覧船運航費1,918万円のうち「ほたるいか海上観光」「富山湾岸クルージング」の業務委託料の内訳、「ほたるいか海上観光」が、中止となった場合の業務委託料の支払いに関して契約内容を問う。

エ 「台湾旅行会社招聘事業」は、4月下旬に予定しているが、台湾の新型肺炎対策本部は2月22日、日本への渡航について「注意」「警戒」「警告」3段階のうちレベル2の「警戒」と伝染病情報を発表した。計画時期の変更や、招聘予定の旅行事業者の反応は確認しているか。

オ 「台湾美食展への出展」は、7月下旬を予定しているが、台湾美食展内の「日本美食館」は、台湾観光協会と提携覚書を締結しているNKBが設置元であるが、設置者であるNKBの対応は把握しているか。

(2) 観光は地方創生の柱・インバウンド市場を拡大する流れや、アジアを中心とした大交流時代を迎えているといわれているが、新型コロナウイルスによる急激な社会状況の変化や、アジア圏の経済状況も予測できない中、市民の税金を預かる市政の施策として、令和2年度に計画する本市の観光振興は、戦略的であり、地域経済の活性化に繋がるのか。見解を問う。

2 市立小中学校臨時休校の対応について

- ・ 2月27日に政府より、全国すべての小中学校や高校、特別支援学校などに3月2日から春休みに入るまで臨時休校要請があり、翌28日には要請に沿った形で対応を決定したが、要請どおり実施するには、準備も協議も不十分ではなかったのかと考える。国の感染拡大抑止に向けての要請に応じた見解について問う。
 - ア 本市の臨時休校決定に至るまでの教育委員会の協議開催スケジュール・開催時間を問う。
 - イ 政府より学童保育を朝からやるようにと要請があり、これに対しても2月28日、本議会終了後の全員協議会にて伊東教育長から「これからお願いし、対応していく。」と説明があったが、小中学校は感染拡大の可能性があり休校で、学童保育は安全だと判断し受け入れているのか。厚労省からも狭く換気の悪い場所は避けるよう注意や、高齢者のほうが重篤化するといわれるが、対応に追われる学童保育場所は学校より人口密度が高くなるか、人員は教員よりも高齢な方が多いのではないか。学童保育の安全性と学校開放時の危険性に対する見解を問う。
 - ウ 2月29日に安倍首相記者会見後、「休校によって国民生活や経済への影響、感染をどこまで抑えることができるのか。見通しは。」と、記者質問があったが、安倍首相は、「判断に時間をかけている暇はなかった。」と答えている。市民生活や地域経済への影響・見通しに対する当局の見解はどうか。

3 感染症に対する各公共施設の意識共有について

- ・ 感染症対応において市内各公共施設は、休館しているものや通常どおり運営しているものがあり、統一的な意識共有・対応が図られていないのではないか。

4 姉妹都市シャンバーグ訪問について

- ・ 米国疾病予防管理センター（CDC）は2月25日現在、日本への渡航に関し注意レベル3段階のうちレベル2と発表、「普段以上の注意」が必要とし、日本への渡航自粛要請を出した。また報道等によれば、渡航先での日本人に対する差別的な対応や警戒心が強まっているように感じるが、計画している海外派遣事業先である姉妹都市シャンバーグは、訪問受け入れに関して警戒感が高まっていないか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) G I G Aスクール構想における、教師の I C T機器操作能力について
- (2) G I G Aスクール構想における、遠隔授業や、在宅学習について
- (3) プログラミング教育における、民間の活用について
- (4) 小学校過程で英語が必修科目となるが、教師の配置など教育体制について
- (5) 教師への防災教育について

2 滑川市営住宅条例について

- ・ 連帯保証人について
 - ア 条例では2人となっているが、1人でもいいのではないか。
 - イ 市内に居住となっているが、市外でもいいのではないか。

3 第7次滑川市行政改革大綱について

- (1) 国土強靱化地域計画の内容について
- (2) 「滑川市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画について

4 幼児教育・保育について

- (1) 「幼児教育・保育の無償化」についてのアンケートの結果として、利用者からは保育の質の向上が50%と最も多く、保育士の拡大、施設整備などが課題として明らかとなった。どう受け止めるか。
- (2) 事業者からは、保育の質の向上のために必要なこととして、任用と処遇の改善が求められていることがわかった。どう受け止めるか。

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 みのお温泉のPRについて

- (1) 温泉の利用者数は。
- (2) みのお温泉の案内看板を設置できないか。

2 手話について

- (1) 各地区でのミニ講座等を行っているか。
- (2) 市役所内での研修はどうか。
- (3) 企業へ出向いての講習会は行っているか。
- (4) そのほかに手話の講習会を行っているか。
- (5) 今後の取り組み等についてあれば伺う。

